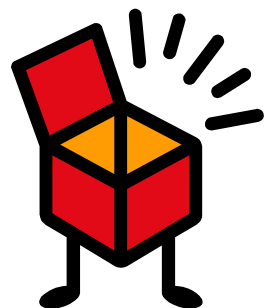


日立金属株式会社
2008年度第3四半期決算説明



Materials Mag!c

2009年2月2日

 日立金属株式会社
Hitachi Metals, Ltd.

<http://www.hitachi-metals.co.jp>

E-Mail : hmir@hitachi-metals.co.jp

2008年度連結業績要約



(単位:億円、()内は前年同期比)

	2007年度			2008年度				
	中間期 実績	第3四半期 累計実績	通 期 実 績	第2四半期 累計実績	第3四半期 累計実績	前回 通期予想	今回 通期予想	前回予想 対比
売上高	3,463	5,274	7,011	3,537 (102%)	4,967 (94%)	6,190 (88%)	5,920 (84%)	96%
営業利益	266	442	597	297 (+31)	329 (Δ113)	297 (Δ300)	120 (Δ477)	Δ177
経常利益	250	426	544	297 (+47)	294 (Δ132)	270 (Δ274)	75 (Δ469)	Δ195
税前利益	244	420	514	297 (+53)	251 (Δ169)	170 (Δ344)	20 (Δ494)	Δ150
当期純利益	126	224	270	153 (+27)	96 (Δ128)	50 (Δ220)	0 (Δ270)	Δ50
設備投資額	258	355	493	197 (Δ61)	307 (Δ48)	420 (Δ73)	400 (Δ93)	Δ20
減価償却費	140	219	294	153 (+13)	234 (+15)	330 (+36)	330 (+36)	±0
研究開発費	67	99	133	67 (±0)	98 (Δ1)	140 (+7)	131 (Δ2)	Δ9

2008年度第3四半期累計業績

売上高 4,967億円 前年同期比 6%減(△307億円)

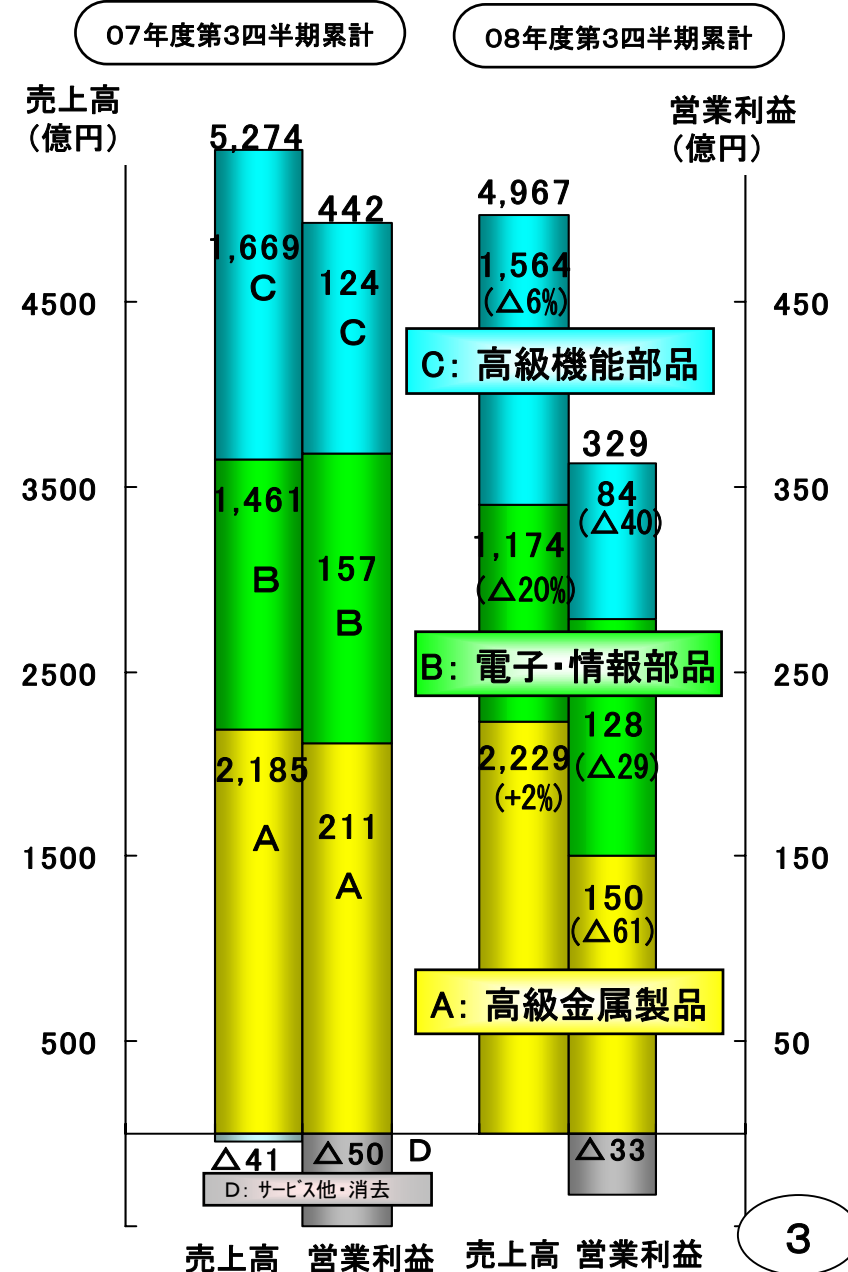
高級金属製品セグメント 2%増
 電子・情報部品セグメント 20%減
 高級機能部品セグメント 6%減

第2四半期後半からの自動車市場の急減速やエレクトロニクス関連業界の低迷、設備投資の抑制などの影響を受け、需要が減少したことから、第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比6%の減少となった。

営業利益 329億円 前年同期比 25%減(△113億円)

高級金属製品セグメント 61億円減
 電子・情報部品セグメント 29億円減
 高級機能部品セグメント 40億円減

第2四半期までは好調に推移したが、第2四半期後半からの急激な需要減退による売上の減少等による影響が大きく、固定費の削減を推し進めているものの、前年同期比25%の減益となった。



2008年度業績予想

売上高 5,920億円 前年同期比 16%減(△1,091億円)

営業利益 120億円 前年同期比 80%減(△477億円)

■高級金属製品セグメント

売上高 2,660億円 (前年同期比 9%減)
営業利益 50億円 (前年同期比 237億円減)

■電子・情報部品セグメント

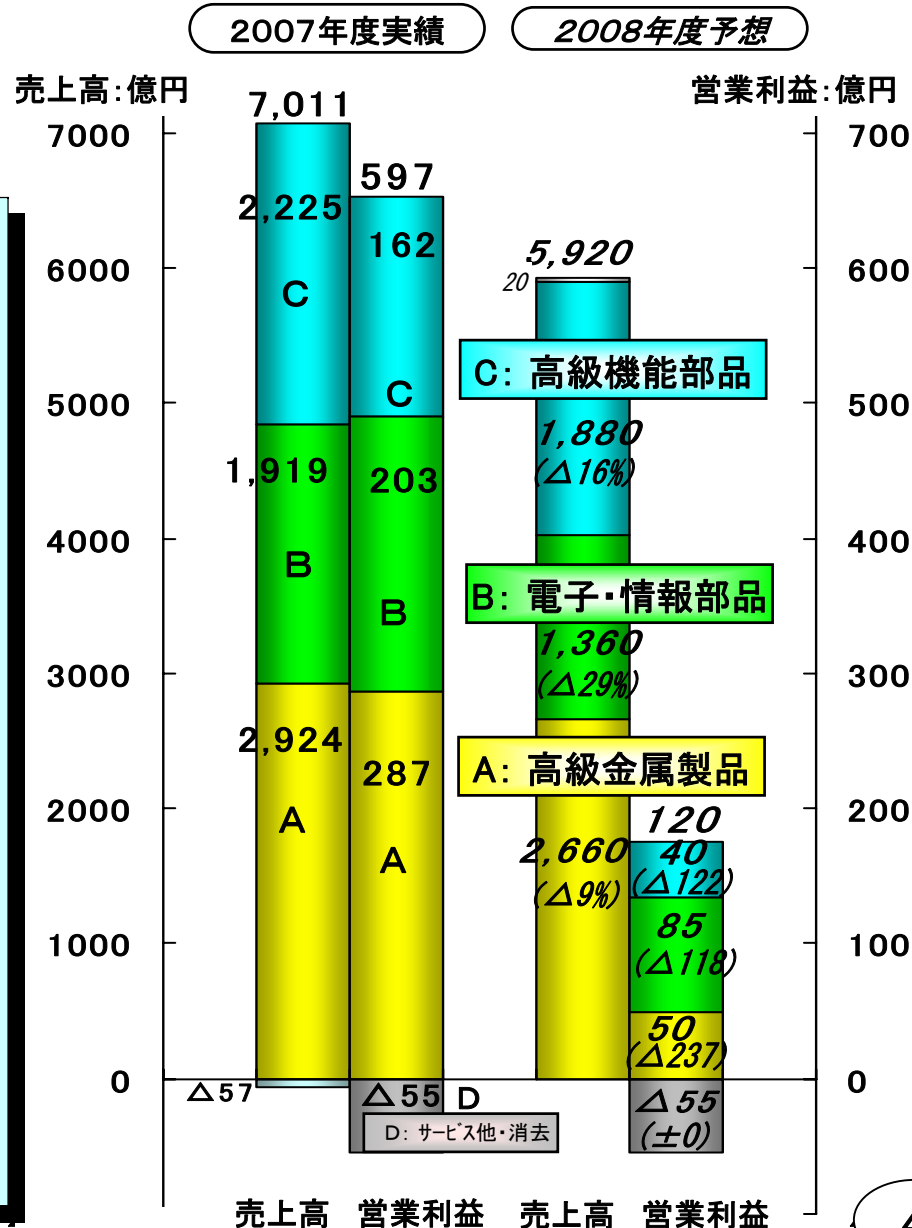
売上高 1,360億円 (前年同期比 29%減)
営業利益 85億円 (前年同期比 118億円減)

■高級機能部品セグメント

売上高 1,880億円 (前年同期比 16%減)
営業利益 40億円 (前年同期比 122億円減)

世界的な景気悪化による自動車・エレクトロニクス関連市場の低迷や、それに伴う設備投資の抑制などが拡大しており、今後も厳しい事業環境が続くと予想。

引き続き生産調整や固定費の削減を実施、高効率生産体制の基盤づくりを推し進めるとともに、棚卸資産の削減を行い、キャッシュの創出を進めていく。

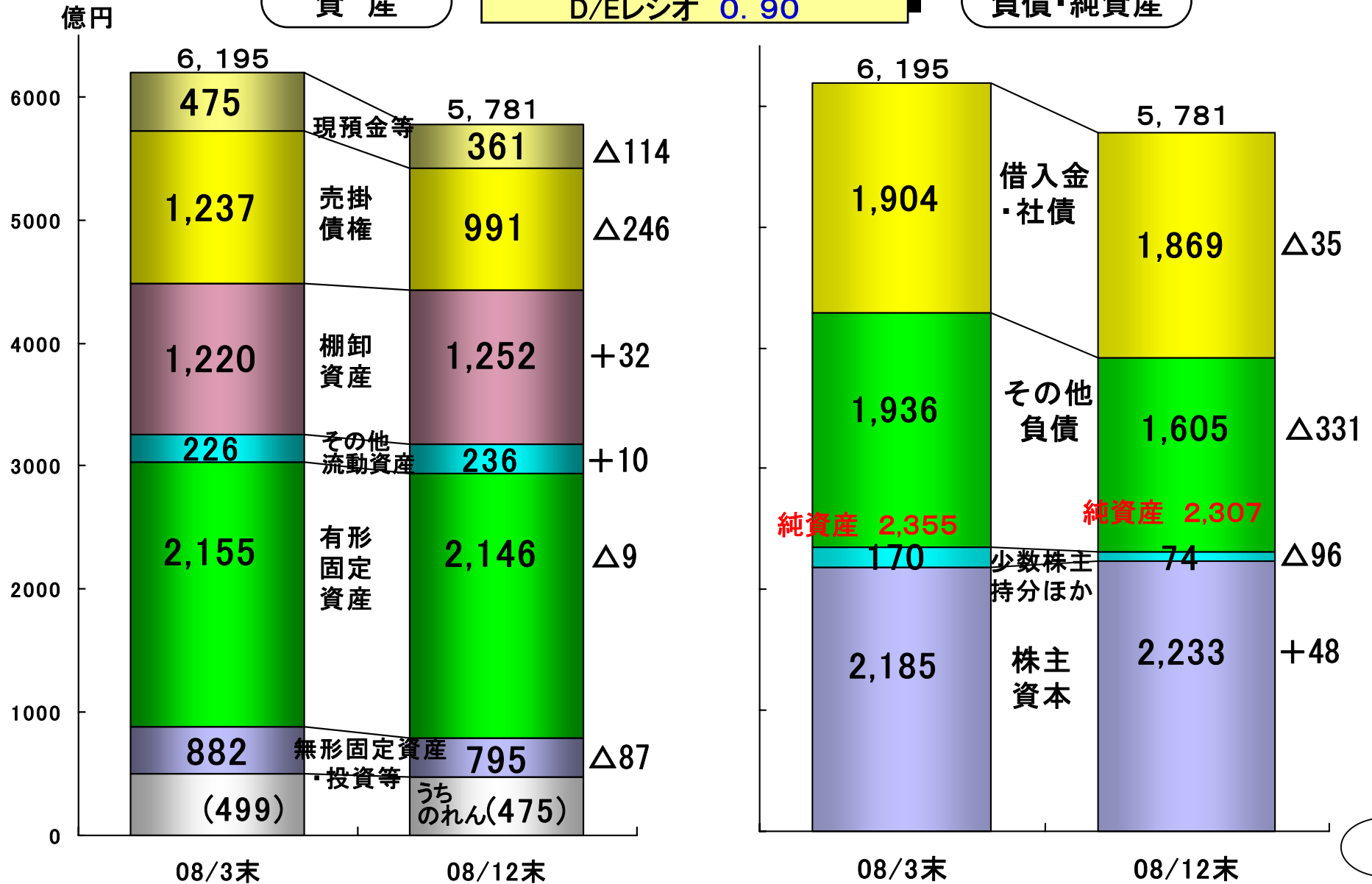


連結B/S残高

08/3末比増減 $\Delta 414$ 億円
D/Eレシオ 0.90

資産

負債・純資産



連結キャッシュ・フロー

(億円)

科 目	08年度 第3四半期累計
税金等調整前当期利益	251
減価償却費	234
設備投資	△334
その他	△152
フリーキャッシュ・フロー	△1
借入金・社債の増減	△26
配当金支払他	△53
換算差額	△31
増加額または減少額合計	△111

(注) 設備投資は検収ベース、受取利息・配当、支払利息組替後 (決算短信P 4 参照)

(参考)各セグメントの事業構成

高級金属製品

特殊鋼カンパニー

ロールカンパニー

日立ツールグループ

電子・情報部品

情報部品カンパニー

軟磁性材料カンパニー

NEOMAXカンパニー

高級機能部品

自動車機器カンパニー

配管機器カンパニー

日立機材グループ

サービス他

販売・サービス会社

その他製造会社



本資料に掲載されている情報のうち業績予想、事業計画および配当予想等の歴史的事実以外のものは、各資料の作成時点において、予想を行うために合理的であると判断した一定の前提および仮定に基づいており、内在する仮定および状況の変化等により、実際の業績と異なる可能性があります。その要因となるもの主なものは次のとおりです。

- ・主要市場(特に日本、米国、アジア、欧州)における経済状況および各種規制
- ・急激な技術変化
- ・競争優位性および新技術・新製品の開発・事業化を実現する当社および子会社の能力
- ・製品市場、製品市況の変動
- ・為替相場の変動
- ・国際商品市況の変動
- ・資金調達環境
- ・製品需給、製品市況、為替相場および国際商品市況等の変動に対応する当社および子会社の能力
- ・自社特許の保護および他社特許の利用の確保
- ・製品開発等における他社との提携関係
- ・日本の株式相場の変動